



第68号  
岡山市北区祇園866  
特別養護老人ホーム  
発行責任者 森 繁樹  
電話(086)275-4349



絵画クラブのメンバーで講師の清水先生の個展を見に、プラザホテルに行ってきました。



「あいさつ

園長 森 繁樹

四月から武田前園長の後を引き継ぎ、ほぼ半年が過ぎました。私自身、平成十三年四月から平成十七年三月末までこの旭川敬老園園長の任にあり、その間に現在の全室個室ユニット型に建て替えを行いました。前に園長を拝命した時は、昭和四十年に建築された四人部屋を中心の平屋建ての平屋建てでした。途中、平成十六年には新敬老園が半分建設され、現在の個室を二人で一人暮らしをされる高齢者の皆さんにとって深刻な状況であったようです。まだまだ残暑が大変厳しいですが、さすがに建築された四人部屋では、職員共用の大きな玄関から入り、以前の敬老園を知つている身から見ると、現在はゆったりと贅沢な生活環境、介護環境だと思えますが、まだ十分それを使いこなせていないようにも感じます。

さて、新しい施設になつて何が一番変わったのかと言えば、ご家族の面会が多くなつたことです。以前の建物では、お部屋に行つてもゆっくりと話をすらうような場所もありませんでした。今はユニットの玄関まで下足で上がり、一緒に過ごす場所も個室もあれば、ユニット内の共同空間もあります。

利用者の方々の重度化といつたこともありますが、確かに「老人福祉」と言われてきた時代と比べると、時にこの介護の仕事全体に余裕がなくなつてきたり、自分の個室を二人で使つて暮らすなどといったように感じる面もあります。しかし、現実的には制度面においても施設環境においても古い時代より今の方が良くなつているのは当然のことです。もしかすると、働く私たちも含め、高齢者介護への要求水準が高まってきたことの裏返しかもしれません。私はつづけては五年ぶりの旭川敬老園です。この新しい建物や制度面の良い点とそれぞれの課題を思ひめ、今後とも慌てずゆっくり考えていきたいと思います。

## ショートステイ通信

月一回程度、介護者の娘さんのご用事に合わせてご利用いただいている光信様。現在106歳！趣味は絵画。本当に味のある素晴らしい絵を描かれます。何時絵を始めたのですかと尋ねましたら、「95歳からです」とのこと。まさに「長生きの秘訣は『老いては子に従え』」とのことです。



※現在（9月頭）10月末迄トマト銀行本店にて個展を開かれています。是非足を運んでいただけます。



**編集後記**

今年の夏の厳しさは例年に増すものでした。おいても冷房がひとときも欠かせないほど状況であります。連日テレビでは熱中症関連の話題が活況であり、特に在宅で一人暮らしをされている高齢者の皆さんにとって深刻な状況であつたようです。まだまだ残暑が大変厳しいですが、さいました。春の大掃除に引き続き、皆様大変お忙しい中、本当にありがとうございました。



今回初めてペランダのウッドデッキの下の排水溝の掃除を行いました。



エアコンフィルター4ヶ月間でかなり汚れていました。



地域交流ホールにて小郷先生よりお話を頂きました。

旭川敬老園にはショートステイの専用ユニットがあり、利用者様にくつろいで個室を10部屋用意しています。今居宅にお住まいの方が、それぞれの希望やベースに合わせ、かかるご利用ください。

旭川敬老園ショートステイの特徴は、養入居と混合ではなく、ショート専用として運営していること、また受け入れが10人までのことで、利用者様同士、また職員とも顔見知りになりやすい適度なしさが魅力でもあります。可能な限り、ご自宅で生活ベースに合わせるように、ご利用前の生前におけるリビングスペースを中心にお住まいの方が、それぞれの希望やベースに合わせ、かかるご利用ください。

旭川敬老園ショートステイ担当（長寿）

ありがとうございました